

新しい歯科医療



鈴木 明美さん 高倉 裕子さん 前田 智美さん

平成28年4月より、高齢や病気・障害により、通院が困難な方の歯や口腔に関する相談窓口が、春日部市歯科医師会内に開設されました。専任の歯科衛生士が電話で相談対応をしてくれます。また、訪問歯科診療医の紹介や、病院を訪問し、口腔内のアセスメントも行います。窓口には、歯科衛生士が常駐しており、

春日部地区在宅歯科医療支援窓口



2016年(平成28年) 第2号誌 秋冬号
平成28年11月発行
【発行元】
春日部市地域包括ケアシステム推進センター(春進センター)
春日部市在宅サービス多職種連絡協議会(春宅会)

春日部市在宅医療提供体制 充実支援事業の取り組み

春日部市では、在宅医療提供体制の充実のために、在宅療養支援ベッドの確保及び、訪問診療医・往診医の登録が開始されました。訪問診療、あるいは往診を行っている医師が、その患者情報を登録することで、在宅療

養支援ベッドを使用できるという仕組みになっています。現在、春進センターでは、春日部市内の訪問診療医・往診医の対応可能な処置等の登録・リスト化を行っており、必要時関係機関で情報の共有ができるよう進めています。

電話相談承ります

- 1: 電話での申し込み
 - 2: 窓口より担当歯科医院へ連絡。
 - 3: 担当歯科医院より、相談者に直接ご連絡。
 - 4: 日程を合わせてご自宅に訪問いたします。
- ※なお、ご相談の際の個人情報に関しては、厳重管理をしております。
- ☎: 090-22253-8020
月～金(祝日除く) 午前10時～午後3時



平成28年度上半期 春宅会協議内容

- 一、春日部市医療介護連携研修・交流会及び、春日部市介護事業部門連携研修・交流会の企画・開催
 - 二、春日部市内における在宅医療介護連携の為にICT導入について
 - 三、春日部地区在宅歯科医療支援窓口の開設及び普及啓発について
 - 四、春日部市内での往診医及び患者登録と後方支援ベッドの導入について
 - 五、春日部市内の医療機関への地域包括支援センターの啓発活動
 - 六、今年度の春日部市健康フェアでの市民向け啓発活動について
 - 七、各団体で開催している研修会等の周知連絡
 - 八、かすかべ支え合い会議の開催について
- ……平成28年度上半期は、6回の開催となりました。右記の他にも、各代表から多くの事が報告・提案され、協議されています。

進先生&春十ースの ちょっと講座

一病気の理解— NO.2



藤さん50歳。会社の部長です。最近また体重が増えた…。ウエスト86センチ。スポンがきつい。血圧も高め

腹囲 男性: 85cm以上 女性: 90cm以上 + 脂質異常症 血圧高値 空腹時高血糖のうち 2つ以上に該当

進先生、藤さんは健康診断を受けていなかったので、メタボリックシンドロームは、複数の病気や異常が重なっている状態です。定期的に健診を受けて、健康管理をしましょう。

センター長が変わりました

平成28年4月より、春進センターのセンター長が田中裕人医師になりました。今後ともよろしくごお願い致します。



多職種との関わりを持ち、皆で分かち合いながら地域を看ている『仲間』になりたいと思っています。人があつての仕事。心の通った看護をしていきたいと思っています。

お問い合せ
春日部地域包括ケアシステム推進センター
住所: 春日部市緑町6-11-41
電話: 048-745-86651
FAX: 048-745-86655

専門職 募集中!

春日部市で開催されている、地域ケア会議等において、多職種によるチームアプローチを行っていることを目的として、会議に参加可能な専門職(医師・歯科医師・薬剤師・歯科衛生士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・精神保健福祉士)を募集しています。春進センターにて登録を行い、地域包括支援センターからの派遣依頼に基づき、春進センターから登録者へ派遣の依頼をいたします。詳しくは、春進センターまでお問い合わせください。

輝いている人 IN kasukabe city

医療法人 永寿会 三須医院 医師 三須 雄二 先生

一般の医師が積極的に在宅医療に取り組めるよう、医師である自分が在宅医療・包括ケアについて、如何に考え、何に悩んでいるのかを、曝け出し、いくことが必要なのかなと思ひ、春サポに登録し、活動しています。

地域の人が、住み慣れた場所で末永く生活していけるよう、手助けが出来る良いと思っています。自身が看護師であることから、ホームでの看取りも行っています。

【グループホーム】
あすなろホーム庄和
施設長 加治屋 亜希子 さん

輝いている人募集中

毎号の『春しん』にて、春日部の医療・介護職で活躍されている方々と、所属している事業所の特集をしていきたいと思います。自薦、他薦、業種、資格等は問いません。ぜひ春進センターまでご連絡ください。取材をさせていただきます。年2回の『春しん』に掲載させていただきます。仕事上の素敵な笑顔をお待ちしております。

※尚、応募が多数となりました場合にしましては、選考とさせていただきますので、ご了承ください。

編集後記
春進センターが開設して1年半。大勢の医療介護に携わる方々に出会い、皆様のやる気パワーを自分の糧にし、日々奮闘しております(笑)。この夏、地域の資源把握を目的として、市内の介護施設にお伺いしました。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。私の医療介護連携についての学びは、成長途中であり、皆様、今後ともご協力よろしくお願ひいたします。てら ☺

第3回 春コン・ケア

開催日：平成 28 年 8 月 23 日
 場所：ふれあいキューブ1階
 参加者：148 名
 講演：『情報を考えよう』



～医療介護に関わる人に必要なコミュニケーション～
 (株) Feel Communication 代表取締役 桐生 純子 様



連携交流会：『医療と介護の情報共有、何が必要なのか？』
 医師・リハビリ専門職との情報共有について
 —各グループの討議内容—【要約】

○医師との情報共有

- ・他者視点を尊重する。
- ・共通認識、役割分担の確認。
- ・定期的に現状を知らせる。
- ・顔の見える関係が必要。
- ・意見書以外にも、処置の図解等、退院時の共有シートがあると良い。
- ・医療相談室や訪問看護が間に入ってくると相談しやすい。
- ・情報交換の場をつくる。

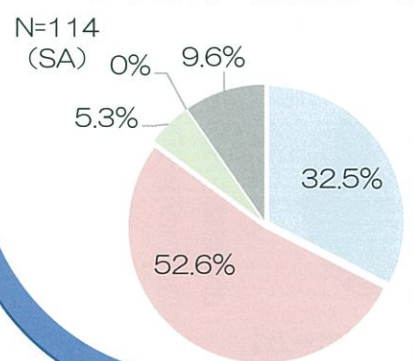
○リハビリ専門職との情報共有

- ・担当者会議やリハビリを見学し、様子を聞くなど、日常のやりとり。
- ・リハビリ動作確認の同行訪問。
- ・介護、在宅側も病院へ情報提供。
- ・ケアマネのプランニングの際のリハビリに対する相談窓口があると良い。
- ・退院時のカンファレンスへの参加でリハビリの情報共有。
- ・リハビリサマリーの活用。



—アンケート結果—

Q. あなた様の期待通りの講演となりましたか？



心で聴く、心を交わす大切さがわかった。(ケアマネ)
 原点に立ち返って再認識する事が出来た(包括)
 現場にある具体的なところまで踏み込んで話して欲しかった。(介護職)

次回は、平成29年2月14日にふれあいキューブにて開催されます。

研修・交流会

第3回 春コン

開催日：平成 28 年 5 月 23 日
 場所：ふれあいキューブ1階
 参加者：344 名
 講演：『動き出した春日部市認知症初期集中支援チーム』



～早期発見 早期対応を！～
 春日部市在宅サービス多職種連絡協議会委員
 医療法人社団みどり会 武里病院 院長 大野 智之



『認知症に対する春日部市地域包括支援センターの関わりについて』
 春日部市在宅サービス多職種連絡協議会委員
 春日部市第6地域包括支援センター センター長 長谷部 朋子

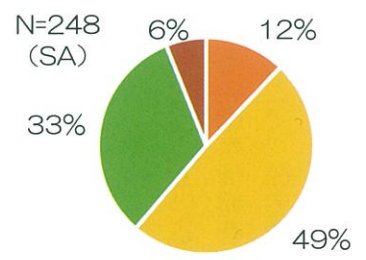
情報交換会：テーマ『認知症に対する地域での取り組み』
 ～医療介護職の役割、かわりとは～
 —各グループの討議内容—【要約】



- 相談窓口…どこに相談したら良いかわからない。困難事例が増加し対応に困っている。⇒包括支援センター、主治医、オレンジカフェ等に相談を。
- 本人、家族の理解…“認知症は病気である”ということの周知。予防・治療。家族の理解。家族との関わりが希薄、独居の問題。
- 病院等の受け入れ…認知症の患者の受け入れ不十分。
- 多職種連携…全ての職種の理解が必要。連携の強化。マンパワーも大切。
- 各職種の役割…開業医は「早期発見」になる。(歯科医師) 勤務医にも認知症がわかる研修会等を行うと良い。(医師) 飲み忘れにどのように関わっていくかが課題。(薬剤師) 認知症の重度の方の介護はプロでも大変。アイデアを出しながら対応している。(介護) 出来ないではなく、出来る、を意識して行っている。(リハビリ)
- 地域づくり…地域包括支援センターを周知する取り組みの強化。

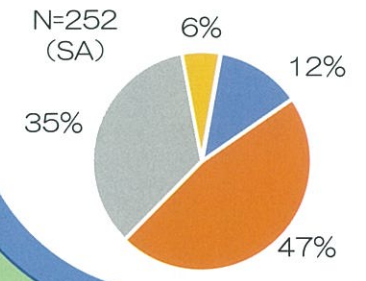
—アンケート結果—

Q.春コンに参加することで、多職種連携しやすくなりましたか？



6割超の方が連携しやすくなったと感じていました

Q.春コンに参加することで、日頃活動されている業務に、どの程度役立てられていますか。



6割弱の方が、業務に役立てられていると感じていました。

春サポ 活動報告

春サポ人数 95 名 (H28.8.24 現在)

春日部市在宅サービス多職種連絡協議会(春宅会)サポーターこと『春サポ』は、春サポ連携交流会と題して、医療・介護職の方々が集まり、意見交換を行い、顔の見える関係づくりをしています。春サポ連携交流会は、4月、7月、10月、1月の年4回の集まりを予定しております。春日部市内の医療・介護に従事し、本人の意思をもって応募した方であれば、どなたでも参加が可能です。

第3回 4月12日

『医療介護連携において、医療職・介護職に必要な事』
 交流会では、医療・介護双方の情報・知識不足や、情報共有の土台となるコミュニケーションの必要性など、様々な意見が挙がりました。



参加人数 31 名

第4回 7月13日

『医療と介護の情報共有、何が必要なのか？』
 多職種が集まる会や、担当者会議、地域ケア会議に参加し連携をとることや、情報共有のツールについて等、意見交換されていました。



参加人数 38 名